

南坊城 光興

高45期

道明寺天満宮宮司



心だに誠の道にかなひなば祈らずとも神やまもらむ

菅原道真公のこの歌から我が国では「至誠通神」という言葉が生まれました。吉田松陰は「至誠通天」といいましたが、「天」と「神」は同義です。

その菅原道真公をご祭神とする道明寺天満宮の嫡男として生まれた私は、「至誠」が精神にある生野高校に進んだのは「縁」だったのだと思います。

その後関西大学に進みましたが、学内には泊園記念会があります。藤澤南岳に連なる泊園書院の蔵書を受け同会が設立されたのでした。その蔵書は、戦時中に道明寺天満宮にて保管され戦火を免れた歴史をもちます。藤澤南岳は曾祖父の先生でもありました。

また、関西大学博物館にある珞状耳飾3対に代表される重要文化財16点のうち15点が藤井寺市の国府遺跡の出土品です。国府遺跡の発掘は道明寺天満宮に泊まり込んでの発掘でしたので、御礼に珞状耳飾1対を道明寺天満宮に残し置かれ、現在は藤井寺市の指定文化財になっています。

生野高校内には五綱領が刻まれた石碑がありますが、書家で教師であった中川雨亭（故人）が書かれた文字です。その中川雨亭の弟子に高山松雨氏があります。私の小学校の担任の先生でした。

それらはすべて「縁」です。これから出会うであろう「縁」も多くあるでしょう。そうした「縁」を大切にしていきたいと思っています。

プロフィール

- 平成5年 生野高校卒業
- 平成9年 関西大学文学部史学地理学科卒業
- 平成10年 國學院大學神道学専攻科卒業
太宰府天満宮入社
- 平成12年 道明寺天満宮禰宜就任
- 平成25年 道明寺天満宮第七代宮司就任